

2023年度 熊取学童保育所保護者アンケート 集計結果

平素は学童保育所の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、先日実施した「2023年度熊取学童保育所保護者アンケート」の集計結果ができましたので、みなさんにご報告します。アンケートの評価やみなさんからいただいた意見については、今後の取り組みや運営、改善にいかしていきます。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

《実施内容》

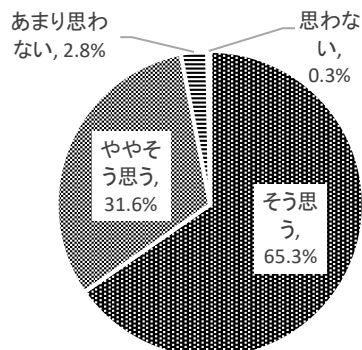
- ・実施期間 2023年12月4日~2023年12月18日
- ・配布対象 熊取学童保育所在籍家庭（12月在籍）486家庭 ・回収数 326家庭（67.1%）

* 現在学童保育所に通っておられるお子さんの学年

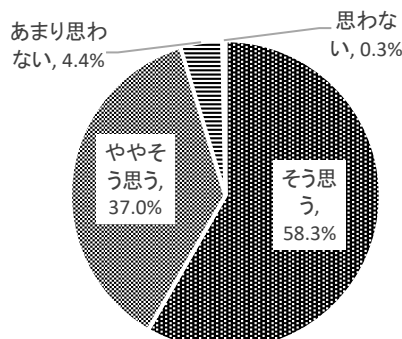
1年生	113	2年生	100	3年生	71	4年生	69	5年生	40	6年生	26
-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

I 学童保育所の保育について

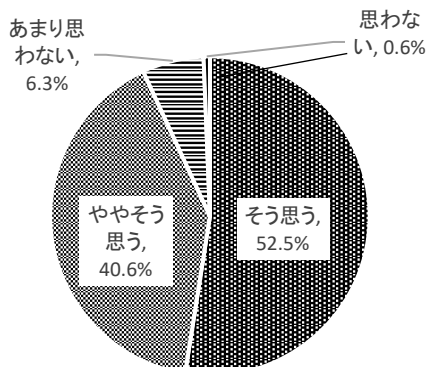
1. 子どもは、安心して楽しく学童保育所に通えていると思いますか？



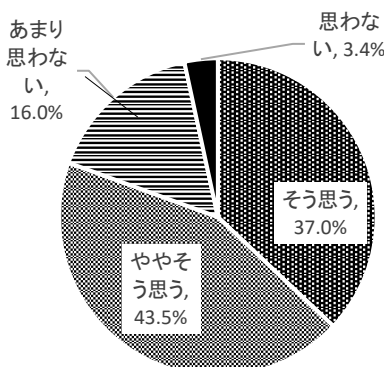
2. 学童保育所での保育内容や保育目標は、子どもの年齢や発達に応じたあそびや生活になっていると思いますか。



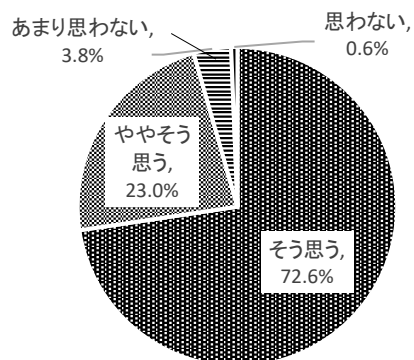
3. 学童保育所での保育内容は、社会性や集団行動への適応力を身につけるための取り組みがなされていると思いますか。



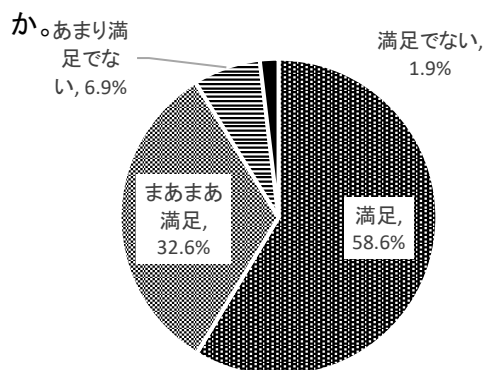
4. 子どもたちにとって放課後の時間帯に必要とされるおやつは、適切に提供されていると思いますか。



5. 体調不良やけがなどの処置・保護者への連絡などの対応は、適切だと思いますか。



6. 学童保育所の懇談や家庭訪問、おたよりやマチコミメールなど家庭との連絡は十分だと思いますか。

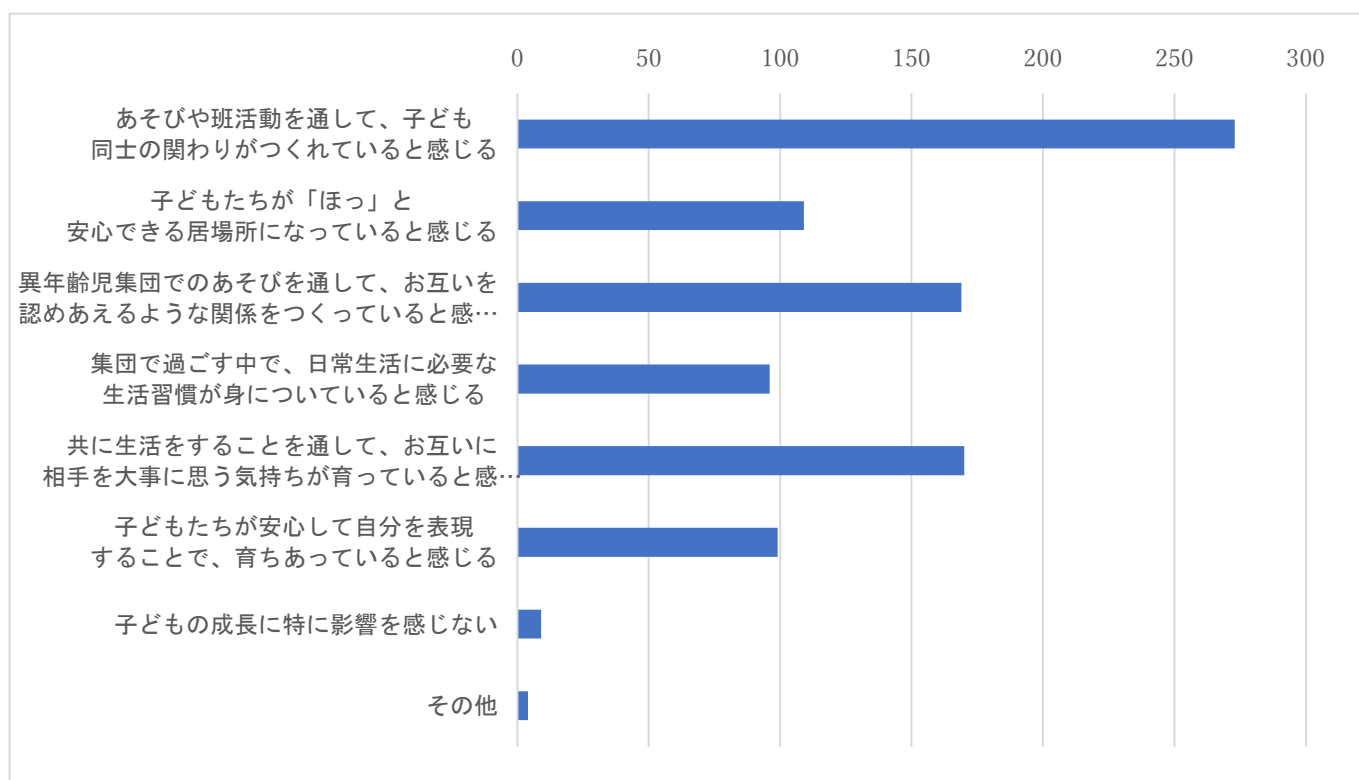


7. 学童保育の保育内容で重要だとお考えのものを下記の中から3つ選び、()に優先順位を1~3の数字でお書きください。

	1番目に重要だと思うもの	2番目に重要だと思うもの	3番目に重要だと思うもの
A. 子どもの安全	249	59	25
B. 集団での関わりあいや遊び	53	189	37
C. 異年齢児との関わり	12	45	167
D. 生活習慣	5	17	46
E. 学習	0	6	14
F. おやつ	0	0	6
G. 行事	0	0	15
H. その他	0	2	1

8. 学童保育所での生活は、子どもの成長にとってどのような影響を及ぼしていると感じますか。

あてはまるものすべて()に○をつけてください。



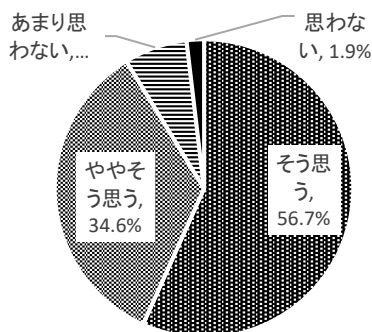
学童保育所の保育について」の設問では、「そう思う」の回答が50%以上あり、「ややそう思う」を合わせるとほとんどの設問で95%以上の高い評価をいただいています。

放課後のおやつ提供については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせ、昨年度比で約5%下がっています。おやつ内容については、物価高騰の影響もありますので計画的に提供できるようなやりくりが必要となっています。これまで以上に計画的な提供に努めていきます。

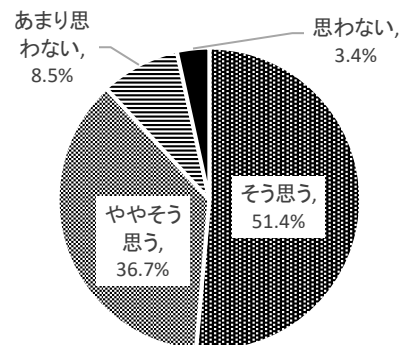
学童保育所は、おやつ時間には、安全確認と休息・捕食・水分補給の時間、何よりクラブのみんなが集まって顔を合わせる時間と位置付けています。平日は、ほぼ1～6年生がそろそろ16時以降より準備をしています。子どもたちは年齢差や体力差、各家庭の夕食の時間の違い等で、空腹具合や生活時間に個人差があると思いますので、夕食に影響が出ている場合には、個別対応をさせていただきますので支援員にその旨を相談していただくようお願いいたします。

II 保護者と支援員の連携について

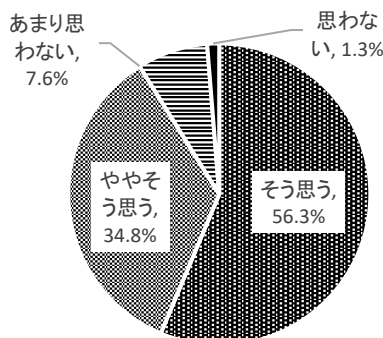
1. 保護者に、支援員から日常的に子どもの遊びや生活の様子が伝えられていますか。



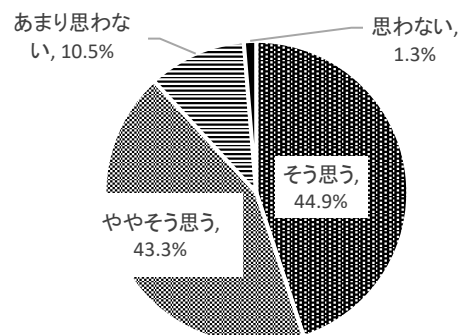
2. 子育て等のことについて、支援員は相談しやすい雰囲気がありますか。



3. 保護者または子どもが困っていることを支援員に相談した際、支援員は子どもや保護者の立場に立って、迅速・丁寧な対応や説明をしていますか。



4. 子どもについて知ってほしいことを保護者が伝えた際、支援員同士で情報が共有されていると思いますか。



「保護者と支援員の連携」の設問では、「そう思う」の回答がほぼ50%以上あり、「ややそう思う」を合わせると、すべての設問で85%以上の評価となっています。また全体としては評価が約2%上がっています。

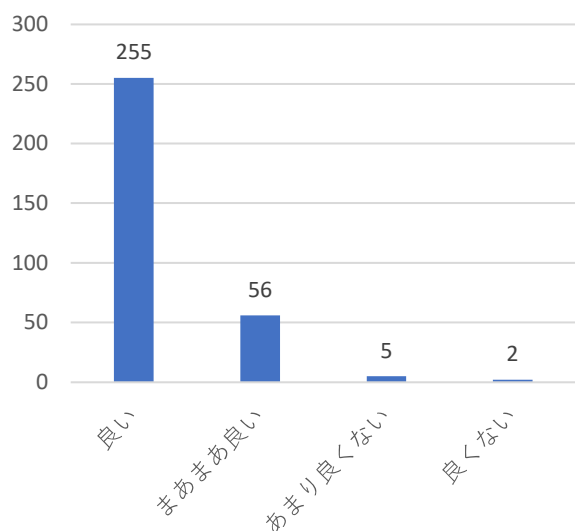
放課後児童クラブ運営指針には、「学童保育所の活動を保護者に伝えて理解をえられるようにすること」とあります。当法人は、保護者・支援員が信頼関係を構築し、子どもたちの成長を共にみまもるパートナーとなれることをめざしています。

3や4の設問については、「子どもが自ら進んで学童保育に通い続けられるように援助する」第一歩となります。クラブにより評価に偏りがあることを含め、「あまり思わない」というご意見も含め、課題の克服に努めていきます。

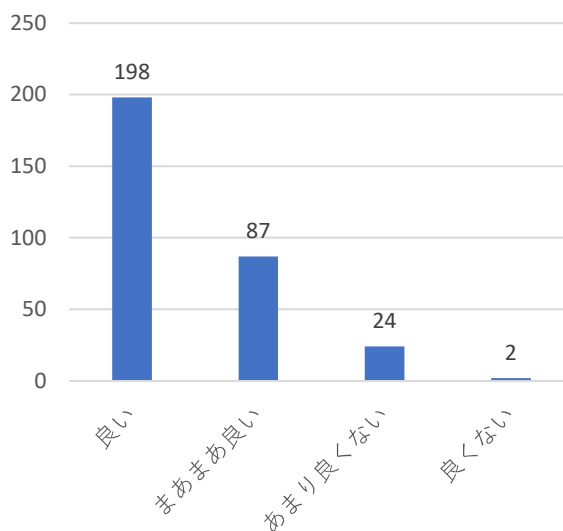
Ⅲ 支援員の資質向上について

1. 職員の資質向上のためにお聞きます。対応についてあてはまるものに○をつけてください。

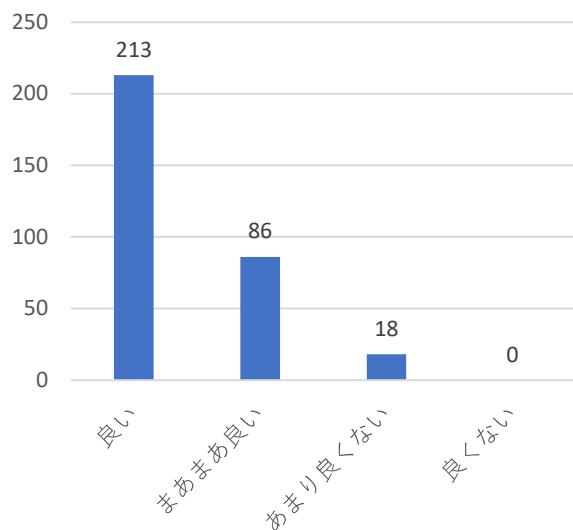
①あいさつ



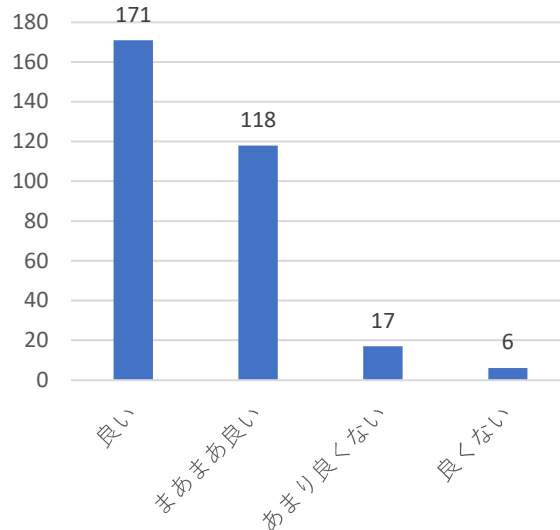
③トラブル対応



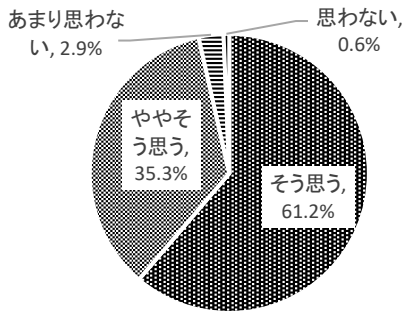
②言葉遣い



④安全や危機管理



2. 支援員は子どもひとりひとりの様子や気持ちを把握し、楽しく通えるように働きかけていると思いますか。



5

ほとんどの設問で、高い評価をいただいています。

1「職員への期待すること」、2「気持ちを把握した子どもへの働きかけ」の質問の、「あまり思わない・思わない」、「ご意見・ご要望」でいただいたご意見・要望については、各学童別に整理しました。その内容については、4月におこなう支援員基本研修「放課後児童支援員の仕事と役割」において、保護者の声をフィードバックするとともに、改善に努めます。

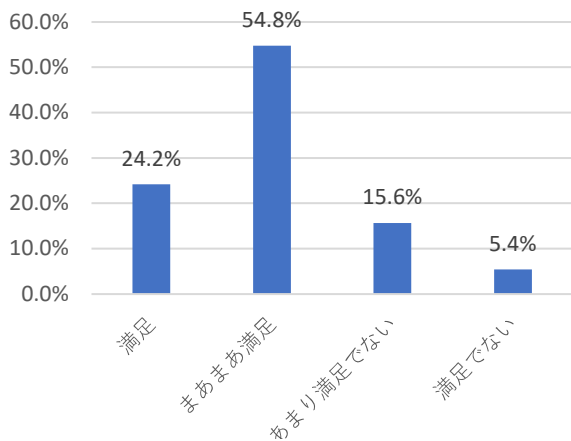
放課後児童クラブ運営指針には、「学童保育所には社会的責任があること」「児童の権利に関する条約の理念に基づき、子ども最善の利益を考慮して育成支援を推進することに努めること」が明記されています。

当法人は各学童保育所に責任者を配置し、各クラブ支援員が保育現場で起こる様々な事案をリアルタイムで報告・連絡・相談をおこなうこと、責任者は主任支援員・統括責任者と共有・連携をおこない、適切な判断と指導をしていくことで、全体の資質向上に努めていきます。

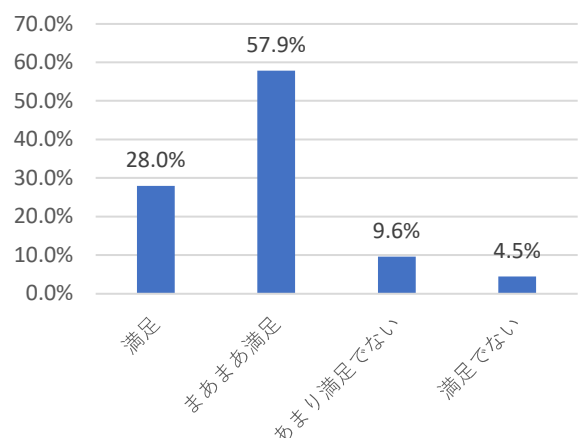
IV 施設・設備、衛生管理、安全対策について

1. 学童保育所の環境についておたずねします。

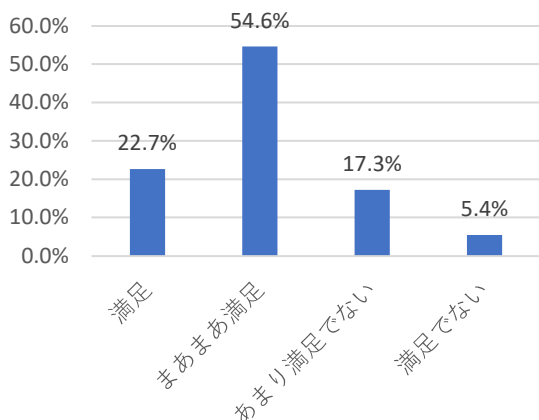
①現在通っている学童保育所の施設整備について



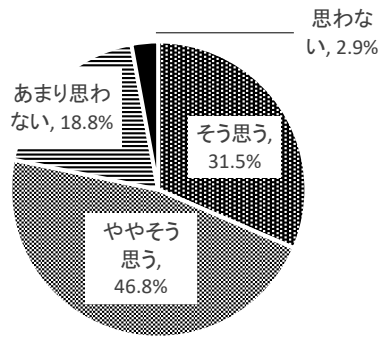
②現在通っている学童保育所の備品（家電や家具等）について



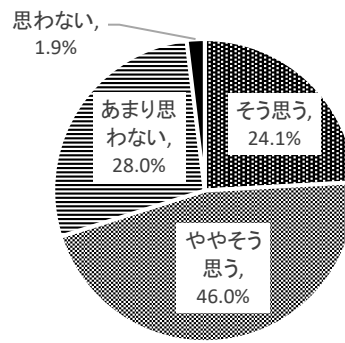
③現在通っている学童保育所の衛生管理・清掃状態について



2. 災害発生時の緊急連絡や安全対策、また不審者対応などの危機管理面について、十分に取り組んでいる姿勢が見られますか。



3. 感染症対策について、十分に実施できていると思いますか。



設問でいただいたご意見を含めて、すぐに改善すべきこと、今年度法人として改善するところ、熊取町とともに施設整備要求をしていくところ等を、各学童別の課題を整理して取り組んでいきます。

衛生管理・清掃状態について、すぐに改善すべきトイレや室内の清掃等の課題については、指摘していただいている学童保育所支援員に日々の業務として確実に取り組むよう、また点検をおこなうことを徹底していきます。また、熊取町が中央学童・南学童のトイレ洋式化工事を2024年度内に実施することが決まりました。

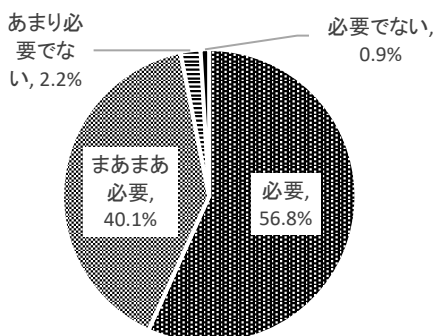
学童入り口門のセキュリティ強化については、すでに熊取町と協議をすすめているところです。防犯対策として学童保育所保護者の名札を発行していますので、送迎の際には保護者等に名札を着用していただき、保護者以外の来所の場合にすぐに対応できるように対策をおこなっていますので、ご協力をお願いします。

安全対策・危機管理の取り組みについては、21%の保護者から「あまり思わない・思わない」という回答をいただいています。当法人は危機管理マニュアルを作成し、毎年、年度当初に職員研修を実施し、事故や非常時の対応とともに、日常の基本の安全確保についての業務を明確に示しています。また防火管理者を各施設に配置し防火管理者を中心に、年2回避難訓練を実施しています。安全計画の策定も進めていますので、今後、安全対策に対する取り組みについて、学童保育所通信等で保護者周知に努めていきます。

V 当法人の学童保育運営等について

1. NPOの学童保育所は「子育て・親育ち・とも育ち」を大切にしています。

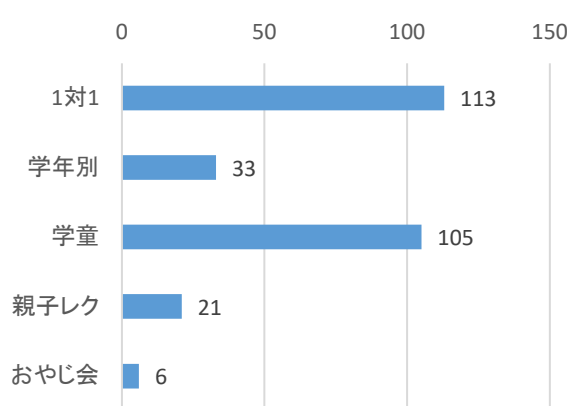
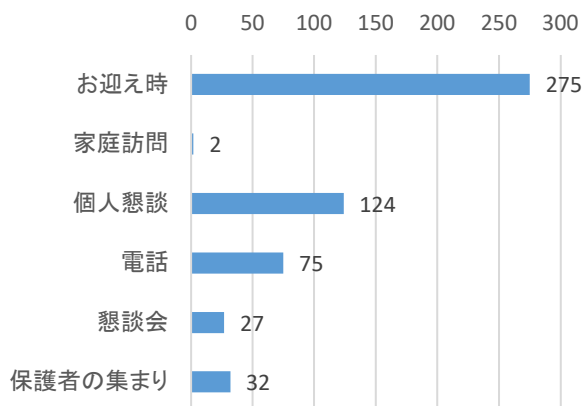
①学童保育所で子どもの様子や話を聞くことや話すことについてどう思われますか。あてはまるものに○をつけてください。



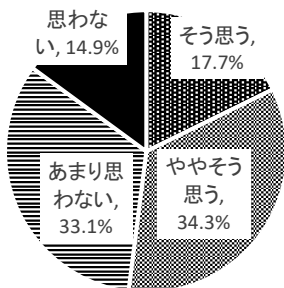
AまたはBに○をつけた方へ →どのような形で話を聞いたり話したりするのが良いと思われませんか。あてはまるものすべて()に○をつけてください。

◎支援員と話を聞いたり、話したりする

◎同じ学童保育所の保護者と話を聞いたり、話したりする



2. 学童保育所では要望や不満に対する窓口を設けていますが、その窓口は保護者にとって利用しやすいですか。



○要望・不満に対する窓口について

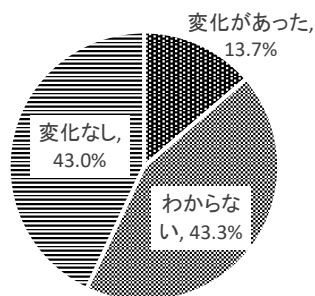
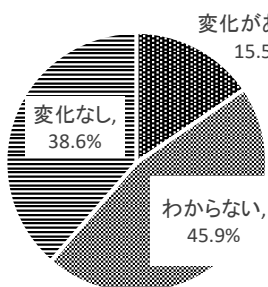
「あまり思わない・思わない」の回答が48%ありました。当法人は、保護者のご意見や発生した苦情に対して、保護者の立場に立って誠意ある解決を図り、安心して預けていたたくことが必要であると考えています。日常的に保護者と支援員が連携していくことが大切です。気軽に各学童保育所専任支援員、もしくは学童保育所事務所(主任支援員・統括責任者)までご連絡をください。

要望・不満に対する窓口は、入所のしおりや学童保育所通信「おかえりい」でお伝えしていますが、広く周知していく必要がありますので、周知方法について検討していきます。

3. 新型コロナウイルス感染拡大前後による変化についてお聞きます。あてはまるものに○をつけください。

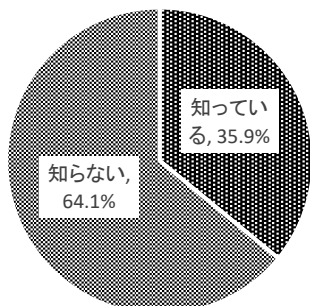
① 子ども何か変化はありましたか？

② 子育てについて、何か変化はありましたか？

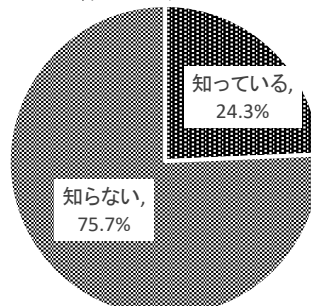


4. 熊取町学童保育所は、2021年6月、熊取町の「指定管理者制度に関する運用指針」が改定され、学童保育所は公募ではなく随意選定とすることが決定され、公募の場合と同様に指定管理者選定委員会にて審査が行われ、2022年4月から2027年3月まで当NPOが指定管理者として指定されることが決まりました。

① 指定管理者制度をご存じですか？



② 学童保育所が公募ではなく随意選定になったのをご存じですか？



○指定管理者制度と随意選定、NPOの運営について

熊取町の学童保育所は、2016年度まで民設民営で熊取町の補助金を受けながら37年間当NPO法人が運営してきました。2016年に熊取町「学童保育条例」が制定され、2017年度より公設民営で指定管理者制度が導入され、公募により当法人が指定管理者として選定され、5年間、熊取町学童保育所の運営・管理をおこないました。

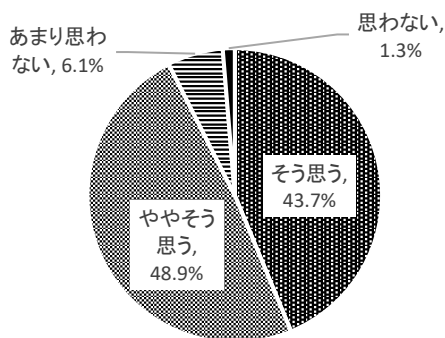
2期目の事業者選定を迎える2020年12月、熊取学童保育連絡協議会（保護者・OB・支援員による任意の組織）から住民・保護者を中心に4000名以上にも及ぶ「随意選定による事業継続を求める請願署名」が提出され、町議会本会議で採択されました。

これを受けて熊取町は2021年4月、熊取町指定管理者制度評価委員会が設置され「指定管理者制度に関する運用指針」の改定が議論されました。

その中で「学童保育所は、子どもたちの保育の継続性が子どもたちの成長と発達を保障するうえで極めて重要であるという認識のもと、随意選定により一定程度の期間、継続して保育ができる体制を構築することが望ましい」という提言がだされ、運用指針の改定が決まりました。

このような経過のもと、2021年10月指定管理者選定委員会にて当法人の書類審査やプレゼンテーションと質疑応答、承認を経て、熊取町12月議会の議決を得て、2022年度から随意選定により当NPOがさらに5年間指定管理者として学童保育の運営をすることになりました。2024年度は指定管理者Ⅱ期3年目の運営をおこなっています。

③現在、指定管理者として「NPO熊取こどもとおとなのネットワーク」による運営をおこなっていますが、順調に運営されていると思いますか。



当法人の運営に関して、順調に運営されているとの回答が「そう思う、ややそう思う」を含めると92%以上あります。熊取町学童保育所を熊取町と協働しながら運営・管理する指定管理者として、子どもが安心して過ごせる場となるよう、保護者等の就労を保障しに安心して預けられていただけるように、今後、NPO法人の情報誌瓦版等で、運営等についての状況をお知らせしていきたいと考えています。

5. 学童保育所へのご意見・ご要望（83名）

◆子どもが居場所になっている、のびのびと遊んでいる、安全に過ごせる場所となっているなど、感謝の声や期待の声が44件寄せられています。一部抜粋となりますが、紹介させていただきます。

- ・学童に通う子どもが健全にたくましく育って将来の日本を担う大人になったときにより指針としての学童であつたらいいなと思います。
- ・いろんな子がいて毎日大変だと思います。いつもお世話になって、ありがたい気持ちしかありません。
- ・家にいると限られてくる遊びも友達とめいっぱい遊んでいるようなのでありがたいです。
- ・子ども同士のかかわりをいつも大事にさせていただいていると思います。
- ・子どもたちのことを親身に一緒に考えてくれていて感謝しています。
- ・両親ともにフルタイムで働いている家庭にとっては、子どもの安全に過ごせる場所は大切です。
- ・家以外の居場所となり、友達のように話せる大人なんて本当に貴重な存在だと思っています。
- ・学童および運営するNPOが熊取の宝になるように応援しています。
- ・最初は不安も多かったですが、とても楽しく過ごせていてほかのクラブの支援員の方も名前を憶えてくれたり、全力で遊んでくれることがうれしいようです。
- ・子どもと支援員の関係性がとても好きです。
- ・年上とも年下とも上手に楽しく学童で過ごしているようで「学童が楽しい」と言っています。そんな環境をつくってくださる支援員の方には感謝しかありません。親として安心して子どもを預けられることは一番ありがたいことです。
- ・子どもに対する接し方、異年齢児とも仲良く遊べている環境など、満足しています。

◆保護者のご意見・ご要望については、全体として取り組むべき課題と、各学童保育所支援員に報告し改善に努める項目を整理していきます。

◎支援員へのご要望（11名）

宿題の声掛けをしてほしい(3件)、呼び捨て・口調のわるさが気になる(3件)、支援員の配置について(異動、男女ペアに)(2件)、子どもの安心安全を守り子どもが育つ保育を、けがに気がついていない、説明は要点で話すように(各1件)

◎施設・設備・環境に関するご要望(7名)

中央 駐車場を広くしてほしい(4件)、
南 駐車場入り口の改善をしてほしい、冬の床の保温をしてほしい(各1件)
東 出入口の坂が滑りやすい(1件)

◎学童の欠席などの連絡ツールにアプリ、ラインなどのデジタル導入をしてほしい(5件)

◎所外保育やキャンプの実施を(4件)、とりくみやクッキングの復活をしてほしい(2件)

◎支援員が働きやすい職場に(2名)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回アンケートを実施させていただき、改善すべき課題を多くご指摘いただきながらも当法人の活動に対し、一定の評価を頂いたのではないかと考えております。

一方で学童保育を取り巻く状況や、保護者の方のニーズが年々少しずつ変化してきていることも今回のアンケートを通して実感しています。

今回の結果も踏まえ、子どもたちが放課後を学童保育所で楽しく安心して過ごすことができるよう、引き続き保育内容の充実やよりよい保育環境の実現を目指し活動いたします。

「子育て・親育ち・とも育ち」を合言葉に保護者・支援員、力を合わせて熊取学童保育所をより良いものにしていきましょう。